

都道府県名：鹿児島県 団体名：笠野原土地改良区

地域

笠野原土地改良区の受益地は、鹿児島県の大隅半島の中央部に位置し、鹿屋市及び肝属郡肝付町にまたがる笠野原台地上の畑作地帯に広がっています。笠野原台地は、西を肝属川水系肝属川、東を肝属川水系串良川に囲まれているシラス台地であり、緑豊かな高隈山地を背景に、畑作地帯が形成されています。シラス台地は保水力が低く、元々は農耕が困難な地域でしたが、肝属川水系串良川に築造された高隈ダムを水源とした畑地かんがい事業が実施され、農業用水の安定供給による農業生産性の向上と農業経営の安定化が図られています。

経緯

国営第1号として、昭和30年から畑地かんがい事業が始まり、昭和35年から笠野原土地改良区において、ダムをはじめとした農業水利施設の維持管理に取り組んでいます。

功績内容

昭和35年の団体設立以降、令和7年までの65年間にわたり、関連事業の推進と農業水利施設の維持管理に取り組んでいます。受益地である笠野原台地への農業用水の安定供給に加え、地域農業経済の振興や水利施設を取り巻く農村環境の保全に寄与してきました。

令和2年からは、流域治水プロジェクトの取組の一環として、大雨が想定される場合にダムの事前放流を行うなど、下流域の治水機能の強化に重要な役割を果たしています。

また、平成13年から、NEDOの補助を活用して整備した「笠野原小水力発電所」を運用し、さらに令和7年からは、農林水産省の補助を活用して整備した「高隈ダム小水力発電所」を供用開始しており、水資源の有効活用を推進するとともに、2050年までのカーボンニュートラルを目指し、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。

加えて、高隈ダム湖面を地元の大学や高校の漕艇競技の練習場として提供し、地域スポーツの振興を支援しているほか、地域コミュニティが主催するダム湖畔の花火大会への協力を通じて、地域の活性化に貢献しています。



高隈ダム



散水風景(茶)



高隈ダム小水力発電所



高隈ダム 湖面での漕艇風景